

# 新潟大学 3-4年生向け教養科目 「開発途上国の環境と開発:事例研究」 の概要

大学教育における「海外体験学習」研究会  
2013年11月16日、和光大学

宮田春夫  
(新潟大学国際センター)  
miyatah@isc.niigata-u.ac.jp

## 「百聞」の共通基礎

開発途上国の「低開発」には、経済的低開発、社会的低開発(健康、教育)、政治的低開発がある。(Howard Handelman, *The Challenge of Third World Development* 他)

## 現地訪問で見て確認すべき「百聞」

- (a) 「開発・発展(development)」の根幹を成すのは、その人なりの理由により価値があると考えるような生活を送る個人の力(capabilities to lead the kind of life that individual has reason to value)である。貧困とは、そのような力の欠けた状態のことである。(Amartya Sen, *Development as Freedom*)
- (b) 人は、政府や援助機関が何かをしてくれるのを待っている主体(passive recipient)ではなく、自分たちの生活を良くするために行動する主体(agent)である。(Amartya Sen, *Development as Freedom*; また、多数の実証研究。)
- (c) 開発協力に関し、「善意は善行を保証しない。」(佐藤寛『開発援助の社会学』)

## インドシナ半島で理解すべき歴史的背景等

- (a) 国家・民族の移動・変遷(クメール帝国(カンボジア)の繁栄と縮小、タイ・ラオ系の南下、ベトナムの南下、チャンパ王国の消滅、3種のラオ人(低地(南下してきたタイ・ラオ系)、山腹(古くからのクメール系)、高地(19世紀以降移動等))
- (b) 対米戦争の影響(今でも枯れ葉剤の影響、不発弾、地雷、インフラ整備の遅れ等々)
- (c) ポルポト派の起こしたことの影響(知識人の虐殺、隣人による密告等)
- (d) 森林、河川等から生活に必要な多くの多くを得てきた社会

## この授業の達成目標

現地訪問により、開発途上国の環境と開発の問題または環境問題もしくは開発問題について、一般的な理論に上乗せして具体論を論じることができるようになること(「百聞プラス一見」の力をつける)

## 上位目標

教養科目の具体的目標のうち次の3点に寄与する。

- (1)専門科目の学習により得られた専門的な知識を、より広い視野や知見の下で位置づけ、意味づける力を育成すること(「百聞プラス一見の力」をつける。)
- (2)大学院教育(または社会人)に接続する学部教育の中で、自ら学ぶ学習能力を育成すること
- (3)自らの心身の健康を管理し、感性と精神を高め、社会や世界に役立つことのできる経験や意欲(同情ではなくコミットメントによる協力)を育成すること(グローバル化した現実社会で積極的に行動できる力をつける。)

## この授業のこれまで

2005年度: マダガスカル訪問。法学部生2名。



2006年度: 同。人文学部2名、理学部2名。



2007年度: 同。三菱銀行国際財團助成金により「国際開発研究会」の活動として実施。経済学部1名、工学部1名、農学部1名、中央大学1名、保健学科教員1名



2008-2010年度: 実施できず。

2011年度: カンボジア・ラオス。教育学部1名、法学部2名、経済学部1名、農学部1名。



2012年度: 実施できず。

2013年度: 法学部3名、人文学部2名、理学部2名、卒業生(法学部)1名(タイから)



# 日程

- 9月6日(金) 新潟9:30 11:45仁川～ソウル市内(延世大学で昼食等)～仁川18:55 22:05ホーチミン  
7日(土) ホーチミン市内で戦争の跡を見る: ベトコンの秘密会議室のあったそばやで昼食、旧大統領官邸、政府に抗議して僧侶が焼身自殺した寺  
8日(日) ホーチミン 路線バス ブンバン  
9日(月) 王宮、国立博物館、旧政治犯収容所、市場、JVC(日本国際ボランティアセンター)「農業・農村開発に関する資料・情報センター」  
10日(火) カンボジア特別法廷、JICA事務所業務説明会  
11日(水) ブンバン 定期バス シエリムアップ  
12日(木) 上智大学アジア人材養成研究センター、アンコールワット、バヨン遺跡  
13日(金) JVC生態系に配慮した家族経営農家の生計改善(CLEAN)プロジェクト・環境教育プロジェクト  
14日(土) 遺跡見学、地雷博物館  
15日(日) シエムリアップ 国境でバス乗り継ぎ バンコク  
16日(月) 国連環境計画アジア・太平洋地域事務所、タマサート大学学生食堂、(王宮は断念)  
バンコク21:50(定刻20:30) 夜行急行列車2等寝台  
17日(火) 11:00(定刻7:25)ウポンラチャタニ 定期バス ムクダハン 定期バス サワナケート  
18日(水) 青年海外協力隊員訪問(中学校)、JVC事務所、青年海外協力隊員との懇談  
19日(木) サワナケート 四輪駆動車 ピン JVC「森林保全と持続的な農業の推進」プロジェクト  
20日(金) ピン13:00 定期バス 19:00フエ  
21日(土) 戦争で破壊された建物(教会、高校)、Quang Triの城塞都市跡、Vinh Mocの地下トンネル、  
旧南北ベトナム国境(Ben Hai川)  
22日(日) フエ市内(市場、王宮)  
23日(月) フエ13:00 ツアー・バス 16:15ダナン22:50  
24日(火) 5:15仁川 ソウル市内見学等 仁川18:00 19:55(10分余り遅延)新潟



訪問先



9月6日(金)

新潟9:30 11:45仁川～ソウル市内(延世大学で昼食等)～仁川  
18:55 22:05ホーチミン

7日(土)

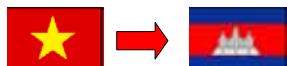
ホーチミン市内で戦争の跡を見る: ベトコンの秘密会議室のあったそばやで  
昼食、旧大統領官邸、政府に抗議して僧侶が焼身自殺した寺



ベトコンの秘密会議室のあったそばや

旧大統領官邸地下司令部

8日(日)



ホーチミン 路線バス プノンペン



ベトナム出国手続きへ



メコン川をフェリーで渡る



プノンペン着



9月9日(月)

王宮、国立博物館、旧政治犯収容所、市場、JVC(日本国際ボランティアセンター)  
「農業・農村開発に関する資料・情報センター」



宿近くのそばやでの朝食



王宮



国立博物館



常用した庶民の足トゥクトゥク



トゥールスレン収容所



トゥールスレン収容所

10日(火)

カンボジア特別法廷、JICA事務所業務説明会



法廷と傍聴席



被告が収容されている建物



JICAカンボジア事務所前

11日(水) ブンペン 定期バス シエリムアップ



12日(木) 上智大学アジア人材養成研究センター、アンコールワット、バヨン遺跡

上智大学アジア人材養成研究センター

アンコールワット入り口にある上智大学の修復看板は、修復に従事したカンボジア人だけを紹介。

13日(金) JVC生態系に配慮した家族経営農家の生計改善(CLEAN)プロジェクト・環境教育プロジェクト



ライムの塩漬け作り等と販売

収量を増やす稻作方法の普及

14日(土)

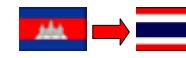
遺跡見学、地雷博物館



地雷博物館



15日(日)



シエムリアップ 国境でバス乗り継ぎ バンコク



11:00(定刻7:25)ウボンラチャタニ 定期バス  
ムクダハン 定期バス サワナケート

16日(月)

国連環境計画アジア・太平洋地域事務所、タマサート大学学生食堂  
(王宮は断念) バンコク21:50(定刻20:30) 夜行急行列車2等寝台



国連環境計画アジア・太平洋地域事務所  
(活動説明、国際キャリア)



タマサート大学学生食堂



夜行急行列車2等寝台

17日(火)



11:00(定刻7:25)ウボンラチャタニ 定期バス  
ムクダハン 定期バス サワナケート



3時間半遅れのウボンラチャタニ駅着



ムクダハン(タイ)発サワナケート(ラオス)行き  
メコン川横断国際バス



メコン川

# 18日(水)

青年海外協力隊員訪問(中学校)、JVC事務所、JVC事務所



青年海外協力隊員訪問(中学校数学教育)  
(校舎建設の遅れによる仮設教室)



JVC事務所(活動の説明)



青年海外協力隊員たちとの夕食会

# 19日(木)

サワナケト 四輪駆動車 ピン JVC「森林保全と持続的な農業の推進」プロジェクト



住民が利用していた森林を政府が外国企業に貸しつけ、ゴム園にしてしまったために住人が困っている現場



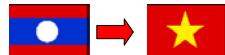
森林破壊の元凶との偏見により  
禁止されてしまった焼き畑



作付けから数年後の焼き畑



# 20日(金)



ピン13:00 定期バス 19:00 フエ



# 21日(土)

戦争で破壊された建物(教会、高校)、Quang Triの城塞都市跡、Vinh Mocの地下トンネル、旧南北ベトナム国境(Ben Hai川)



邸宅を利用したレストランで宮廷料理

22日(日)

フエ市内(市場、王宮)



23日(月)



フエ13:00 ツアー・バス 16:15ダナン22:50



24日(火)



5:15仁川 ソウル市内見学等 仁川18:00 19:55(10分余り遅延)新潟



仁川空港



ソウル市内

学生1人当たり負担額見積もり(10年用パスポート16,000円を新規に取得し、かつ、15,000円程度で破傷風等予防接種を受ける場合)

項目	円額	内訳等
交通費(日本・現地往復)	68,670	航空券大韓航空新潟発仁川経由ホーチミン・ダナン往復 65,810円他
交通費(現地)	20,943	長距離バス・列車、プロジェクト訪問用車両、近距離移動
宿泊費	17,312	1室を2人で利用の場合
食費	35,024	
入園料等	15,122	日本国際ボランティアセンター(JVC)学生会費(1年分)5,000円を含む。
渡航手続き費	18,871	カンボジアビザ2,871円(ネット取得)、パスポート10年用16,000円
安全対策	25,000	旅行保険約6,000円(ネット割引)、携帯蚊取り器、蚊除けウェットティッシュ、日焼け止め等、予防接種約15,000円
おみやげ	12,000	訪問先持参用一式(小さくて軽いもの)2,000円、自分、家族、友人用10,000円
予備費	20,000	
合計	232,941	